YOROZU よろずとーく101 TALK

ぬまた起業塾塾生
(株)あざみ創機勤務
阿左見　拓也さん
(沼須町)
Takuya Azami

沼田を良くしたいという空気を一緒に味わいたかった

今年7月に満を持して始まった「ぬまた起業塾」。市内で起業を目指す幅広い年代の塾生30人が参加している。その中で募集と共に入塾を希望した一人の若者がいる。

「大学を卒業後、埼玉の会社に1年余り就職しましたが、父親からの強い誘いに負けて沼田に帰ってきました」

と語る阿左見さんだが、物づくりの好きな父親が、鉄鋼・ステンレスを使った産業機械づくりを仕事としてやっている姿に憧れていたのも帰ってきた理由の一つ。最初は新しい仕事に戸惑いながらも、3年以上たった今では設計から組み立て、メンテナンスまでを幅広くこなす。

「新しい会社を立ち上げる気持ちで受講しています。自分も沼田を良くしたいという空気を一緒に味わいたかったからです」と起業塾への参加動機を語る。

「塾は期待以上。特に参加している塾生の横のつながりが楽しく、みんなで沼田を良くしようとする人が集まっています」

来年1月までに、専門講座や企業訪問などを行い、塾生一人一人が自分のビジネスプランを作成する。今後の起業塾や沼田の将来について尋ねると、さらに目を輝かせて話してくれた。

「塾には大いに期待しています。沼田もさまざまな人や会社同士が結びつき、コンパクトな街で肩を組みながらやっていけば、産業も盛り上がると思います。みんなが自己肯定感を高めて、5年後、10年後の将来の姿を共有できれば良いと思います」

漬物容器台車を製作する阿左見さん

消防団員紹介 No.5

地域の守り手として活躍する消防団員の皆さんをご紹介します。

市消防団では多くの入団希望者を募集しています。
問い合わせ　市消防団本部(防災対策課消防係内)☎内線３３６３へ

沼田市消防団第４分団(薄根地区)　分団長　石橋英利さん

当分団は、第１部から第５部までの５つの地区別に活動し、自動車部の第１部は、３年前の全国消防操法大会において、準優勝に輝き、先輩たちから受け継がれた思いや絆が一つの形になりました。

団の活動は危険を伴うため、厳しい訓練もありますが、楽しみながら活動し、地域や学校行事にも参加しています。

地域の皆さんのご理解、ご支援あっての消防団ですが、団員のみんなには、いつも頭が下がります。

今月18日、沼田公園で消防団点検が実施されますので、みんなの勇姿を見に来てください。

県総合防災訓練にて

９月12日(土)　第３回沼田花火大会

今年は、安心・安全を念頭に一般観覧席を増やすなど、昨年以上により多くの人が楽しめる花火大会となりました。

高橋実行委員長のあいさつの後、小学生たちがデザインしたスターマインをはじめ、音楽とシンクロした最先端の花火が夜空へ。咲き誇る大輪は、観た人の心に感動を刻む壮大なエンターテインメントとなりました。

ぬまたフォトさんぽ

市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。